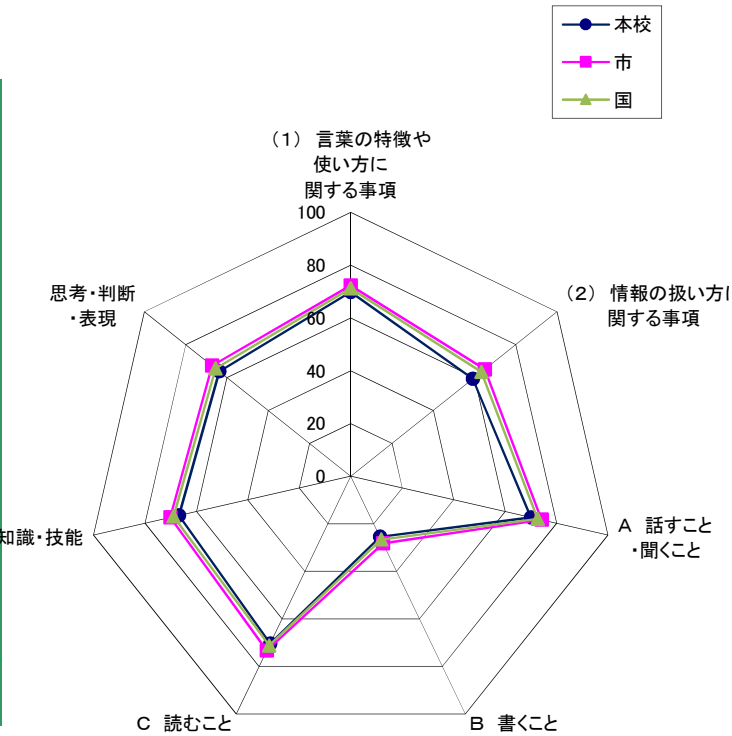


宇都宮市立宝木小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	69.8	72.3	71.2
	(2) 情報の扱い方にに関する事項	59.2	65.0	63.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	70.1	74.2	72.6
	B 書くこと	25.5	28.2	26.7
	C 読むこと	70.4	73.3	71.2
観点	知識・技能	66.8	70.2	68.9
	思考・判断・表現	63.8	67.2	65.5
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	○送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う問題の正答率は96.9%で、全国平均より3.8ポイント上回った。 ●日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題の正答率は42.9%で、全国平均14.7ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・敬語の種類を再度確認し、敬語に直す問題に取り組んだり、敬語を使った文をつくったりする活動を取り入れ、活用する力の育成を目指す。 ・日常的に使えるよう、教員が模範を示すとともに、児童と会話する中で敬語を使う機会がある際には使えるよう支援する。
(2) 情報の扱い方にに関する事項	●原因と結果など情報と情報との関係について理解し選択する問題の正答率は58.2%で、全国平均より6.5ポイント下回った。 ●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解使う問題の正答率は60.2%で、全国平均より1.8ポイント下回った。	・国語の授業において、文と文との関係を整理する活動を取り入れ、文章を整理し理解する力の育成を目指す。 ・情報と情報の関係を整理するために、日頃から丸で囲んだり線を引いたりするよう支援していく。
A 話すこと・聞くこと	○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる問題の正答率は71.4%で全国平均より1.2ポイント上回った。 ●必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える問題の正答率は、2問とも全国の正答率を下回った。	・話し合いをしたり、必要なことを質問したりする活動時には、話の中心を捉えるための、効果的な聞き方やメモの取り方などを具体的に指導していく。 ・話し合いをしたり、必要なことを質問したりする活動を意図的に取り入れ、必要なことを聞いたり、話の中心を捉えたりする実践的な力の育成を図る。
B 書くこと	●図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題の正答率は25.5%で、全国平均より1.2ポイント下回った。	・国語の授業でポスターやリーフレットなどを作る際に、図表やグラフをから分かることを基に、自分の考えを効果的に伝えられるよう指導していく。 ・日頃から様々な教科で自分の考えを書いたり、友達の書いたものを読んだりする機会を設けることで、書くことへの抵抗感を減らし自分の考えを書くことに慣れるようにしていく。
C 読むこと	○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約をする問題の正答率は88.8%で、全国平均より0.2ポイント下回ったが、無回答率が0%と積極的に読み取ろうとする意欲の高さが伺えた。 ●目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題の正答率は66.3%で、全国平均より1.1ポイント下回った。	・説明文を読む際には、段落を要約する活動を取り入れ、大事な言葉や文を見つける力の育成を図る。 ・国語の授業で、文章と図表を結び付ける際には、しるしを付けるなど工夫をして読むようにし、文章を整理する力を身に付けられるようにする。